

内野・五十嵐まちづくり協議会

つながりと支え合いで、夢のある明るいまちづくり

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和2年6月7日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○自治会館などを開放し、世話役を配置して多種多様な催しを実施 ○内野駅前に、子どもから高齢者まで気軽に集える地域の拠点（居場所）を開設 ○地域住民の交流促進 ○地域全体で子どもたちの健全育成を推進	地域ふれあい事業の回数増加	★地域の茶の間の実施（各自治会） ★餅つき大会（各自治会で実施 12月） ★内野DEピアガーデンを実施（7/27） ★内野盆踊り大会（7/27） ★夏休みこども劇場を開催（8/6） ★新川ホテル（8月） ★懐かしの昭和のキネマ鑑賞会（8/23） ★内野まつり（9/13, 14, 15） ★内野まつりカラオケ大会（9/15） ★佐々木 呼雲陶芸展（10月） ★猪爪 彦一展（11月） ★うちの新川音楽祭。うちのDE月見酒（11/9,10） ★虹の部屋（親子の居場所作り）2回/月	評価 B ★各自治会でも色々な催しを実施・回数も増加した。 ★内野まちづくりセンターや自治会館を有意義に活用 ★参加者がほぼ同じ人なので対策が必要 ★子供達への行事が少ないので増やしていきたい。 ★誰もが気楽に参加できる活動・様々な世代のアイデアを取り入れながら形にして行けたらいいと思う。
	内野地区集会施設で、ミニコンサートなどイベントを開催		
	内野盆踊り大会や内野DEアートなど地域行事を拡充		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○地域住民が日ごろから自治会役員や民生委員・児童委員と連絡が取れる関係を構築 ○防犯パトロールの充実 ○地域の安心・安全のため、セーフティスタッフの増員や防犯灯の増設	あいさつ運動や公園の清掃活動に積極的に参加	★登下校時の見守り時の挨拶実施 ★各自治会で夜間防犯パトロール実施（6月～9月） ★火の用心パトロール実施（7月～8月）	評価 B ★各自治会とも積極的に取り組んでいるので今後も継続実施していきたい。 ★町内の危険箇所の洗い出しと安全マップの作製。 ★防犯灯のLED化ほぼ完了 ★高齢者等の見守りなどはご近所にお願いが一番。
	防犯パトロール強化月間を設定		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○各種事業への参加が増えるよう、地域住民への積極的な働きかけを実施	コミ協や自治会・町内会でまちに花を植える取り組みを推進。参加自治会・町内会の増加	★各自治会による公園清掃・側溝清掃の実施（2回/年）	評価 B ★年々定着してきているので今後も継続実施。 ★住民同士の連帯感が生まれてきた ★住民の高齢化により何かするにしても手を出せなくなっている人が多く見られるようになった。 ★誰もが気楽に参加できる活動・様々な世代のアイデアを取り入れながら形にして行けたらいいと思う。
	定期的な町内清掃活動の実施	★内野中の生徒と海岸一斉清掃の実施（7/6） ★内野一斉クリーンデーの実施（6/10）	
	ごみの出し方の周知徹底について、自治会・町内会で繰り返し実施	★クリーン新潟推進委員研修会への参加	
	新川、広通川の美化活動を地域みんなで実施	★西川の土手歩道の草刈り（年2回）・・・隣接の自治会	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○自治会・町内会の仕事はひとりに負わず、地域みんなで協力	自治会・町内会、民生委員・児童委員、大学などの情報共有促進	★内野まち協だよりの発行（年4回） ★定例会の実施（1回/月）で情報共有を図った。 ★月2回の回覧板での情報共有 ★班長会議等で周知 ★カレンダー作成	評価 B ★他の町内会や自治会との避難所の情報共有 ★まだまだ委員や有志だけの活動が多いので今後の取り組みが重要 ★何かの時は気安く手を挙げて皆で活動できる地域に取り組みたい ★最近では高齢化が進んで町内の班長等もできない人が増えてきている班が多くなってきている ★地域の情報が前に比べると自治会に入りやすくなった ★中・高・大学生を地域のボランティアとして活用していきたい。
	地域の情報は回覧板などを利用して積極的に住民に周知		
	自治会・町内会や老人クラブなどにおいて、ボランティアの募集・育成の取り組み強化		
	中・高・大学生を地域のボランティアとして積極的に活用		
	障がいがある人にも積極的に地域活動に参加してもらうことで、地域との接点を増加		

【スケジュール】 ①令和2年2月18日：委員宛て作成依頼 ②5月頃まで：コミ協ごとに検証し、作成 ③6月8日まで：提出 ④6月の推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画 2015～2019年度の5年間ふりかえりシート

西内野コミュニティ協議会

住民同士笑顔でささえあう、安心・安全なまちづくり

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和2年5月28日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○コミュニティセンターや自治会館・町内会館、空き家などを活用し、気軽に集まれる交流の場の開設 ○みんながあいさつをする、笑顔で明るいまちづくりの推進 ○子どもから大人まで、住民が多く参加できる行事や活動を行い、交流と親睦を推進	老人クラブ、婦人部等と協力し、「茶の間」を増設	<ul style="list-style-type: none"> 当コミ協には9自治会1町内会がある。年齢層、世帯数の差があるが概ね「茶の間」を開催中している。「長寿クラブ」「ささえあい」「喜楽会」「松葉会」「明寿会」「シルバーの会」「上原にこいっちゃん」「火曜茶の間」等 西内野小学校のPTA・なかよし会が中心になり期限を決め「あいさつ運動」を自治会/町内会で登下校時に実施している。 コミ協主催で毎年「盆踊り大会」、「餅つき大会」、「高齢者日帰り研修」、芸能音楽祭、社交ダンスパーティー、著名者講演会（神津カンナ、増田明美）を実施した。 各自治会/町内会の祭りで「子ども会」を中心にイベント実施「地引綱」「餅つき」「ポーリング大会」等 	<ul style="list-style-type: none"> 世帯数の多い処は役員も多く「茶の間」回数が活発である。後期高齢者が多い自治会は精々「敬老会」程度であり今後の課題である。「茶の間」は毎週1回～月1回～2回開催が多い。 脳トレ、健康体操、将棋、麻雀、ちぎり絵等色々実施するが参加者が固定している。新規参加者が今後の課題である。 盆踊り大会で高齢者専用の見学椅子席を多数準備し好評 子どもの多い自治会/町内会は活発であるが少ないところは実施されない為、他の町内イベントに参加させる配慮が必要
	西内野小学校「なかよし会」を中心としたあいさつ活動の展開		
	コミ協活動としての盆踊り、餅つき大会の継続と地区の老人クラブ間の連携強化		
	親子で楽しめるスポーツ大会等の開催		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○災害時に要援護者を支援できる地域における体制づくり ○隣近所で声をかけあい、高齢者や子どもの見守りを推進 ○防犯パトロールとともに危険箇所の点検を行い、地域の安全を確立	自治会、町内会単位での支援体制の組織化	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会/町内会共、災害時における高齢者要支援体制を確立見守り隊編成中（新中浜）お助け隊編成中（広通江）要支援マップ（西新町） 各自治会/町内会共、民生委員による高齢者の見守り活動実施 コミ協防犯、防災部で全自治会/町内会より隊員を集め夜間パトロールを毎年実施（8月下旬～10月上旬の2回/週） 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護で自治会/町内会の一部の役員及班内で情報展開としている。 高齢化に伴い高齢者が高齢者を見守ることに限界がある。 西内野小学校のセフティスタッフによる登下校時の見守り活動中 7人/班編成で概ね90分程度火災予防のため拍子木も打つ 交通安全協会西内野支部が設立（2019）され期待される。
	社協等との連携による見守りの実施（友愛訪問事業）		
	防犯パトロール、老人クラブと連携した高齢者交通安全教室の実施		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○地域における一斉清掃や花を植える活動など、住みよく緑あふれる地域づくりの促進 ○ごみの分別方法を定期的に確認し、ごみステーションの美化を促進	緑化活動推進事業を活用した公園等の緑化	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会/町内会共、班別で毎年期日を決め公園清掃、草取り、植栽の水やり等実施 	<ul style="list-style-type: none"> 植栽の水やりは役員が行っているが高齢者が多く負担あり。 公道にはみ出している枝木（空家）がありクレームがある。今後の課題として行政、民間に委託する。 リサイクルごみでまだ理解されていない住民がいる。（特に庭内の枯れ枝と材木のハギレ等）
	自治会、町内会でのクリーンにいがた推進員制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> 全公園清掃は期日を決め各自治会/町内会共、実施された。 全自治会/町内会共、クリーンにいがた推進制度を活用 分別ごみはほぼ徹底されているが時々違反がある。 ゴミステーションの清掃は班内で輪番制で実施 	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○広報紙の発行や掲示板の設置により、地域情報の周知と共有促進 ○コミ協、自治会・町内会と民生委員・児童委員、各種団体などの情報交換の場をつくり、連携を強化 ○町内・班での話し合いを活発にし、住民の地域活動への参加を促進 ○子どもと一緒に遊んだり、行事に参加したりするボランティアの確保 ○子どもの頃からボランティア活動に参加できる環境の整備	コミ協だよりや自治会、町内会だよりにより地域の情報を提供	<ul style="list-style-type: none"> コミ協だよりを発行（年3回）情報提供を行っている。 自治会/町内会で単独広報紙の発行「西新町だより」（西新町）「新中浜だより」（新中浜）「西ヶ丘かわら版」（西ヶ丘） 「夕映えの会」広報紙をコミ協を通じ全自治会/町内会に配布し回覧板方式でイベント等の情報を提供 コミ協の自主事業として講演会、音楽会、漫談、落語、文化祭、ダンスパーティー等幅広く提供し喜ばれている。 独身の男女を対象に「婚活事業」を西区で初めて開催する。 西内野小学校、内野中学校のコーディネーターの要請で各種ボランティアが登録され依頼に応じ活動している。 各自治会/町内会共こども中心のイベントを実施 「学習サポートIN西内野」中学生の夏休み、冬休みの期間限定で学習支援を地元大学生、教員OBが講師になり開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> 世帯数が多いところは広報紙を発行するためのマンパワーがあるが殆どの自治会は回覧板方式で情報量に限度がある。 「夕映えの会」がコミセンで「西内野食堂」を開催し廉価で栄養を考慮した食物を提供され喜ばれている。（隔月6回） 利用者が多くなったことは喜ばしいが反面、小グループが利用出来ず問題もある。 西内野小学校「防犯教室」「まちなか探検」「昔の遊び」「海岸遠足」「プール監視」「自転車の乗り方」等 内野中学校「消火器訓練」「心肺蘇生法」「簡易担架法」「3年生地元活性化提案発表会」「三川リバーウォーク」 「新1年生歓迎会」「6年生を送る会」「地引網」「クリスマス会」「こども110番スタンプラリー」「子ども夜店模擬店」「こども夏祭り 山車、神輿巡行」等 全員志望高に入学でき好評であった。
	定期的に、夕映えの会など各種団体との情報交換を実施		
	イベントの開催など地域活動の機会を提供		
	地域教育コーディネーターとの連携		
	西内野小学校の「西っ子広場」への参加		
	祭り、茶の間の会、寺小屋など、子どもが参加できる行事の実施		

【スケジュール】 ①令和2年2月18日：委員宛て作成依頼 ②5月頃まで：コミ協ごとに検証し、作成 ③6月8日まで：提出 ④6月の推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画 2015～2019年度の5年間ふりかえりシート

コミュニティ中野小屋

すべての人々が支え合いいきいきと暮らせる中野小屋

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和2年6月作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○子どもからお年寄りまでが参加する多世代交流の場づくり ○隣近所同士の交流や助けあいの充実 ○老人会、婦人会などの活動の活性化	親子三代ふれあい会や瑞穂祭などの地域行事の継続	親子三代ふれあい会&瑞穂祭は、秋の農繁期終了後、数少ない交流ふれあいの場となっている。	今後も継続していく。
	集会所等を活用したお茶飲み場の開催	婦人層を中心に行われていたが、近年は開かれていない。多忙・高齢化が主な原因か？	個人的な交流がメインになり、大勢での交流が不得手なのか。
	友愛訪問活動の活性化		
	買い物の手伝いなどの生活支援	家族・親族間での対応が中心。	家族・親族以外に頼る事を善しとしない習慣があり、それは尊重されるべき。
	各老人クラブの連携促進	自治会内の活動が中心となった。	リーダーのなり手が少なく、自治会内ならというのがほとんどであり、地域全体でという考えは見直しても良い。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○消防団活動の活性化 ○高齢者や子どもの見守り活動の推進 ○地域における小学生の放課後支援を充実 ○不審情報等の速やかな伝達	地域と民生委員・児童委員、消防団との連携した防災への取り組み、情報共有	防災、防火、防犯などの課題につき、学校・民生委員・消防団などの各種団体と連携、歳末警戒などを実施。	少子化が進み、消防団のなり手が少なく、定員に達していないところが多い。啓蒙活動が重要となる。
	新聞配達店と連携した高齢者の見守り活動	見守りを依頼しているが、現在までそういう事例は無かった。	高齢者の家族、単身者が一層増加するので、継続していく。
	学校と連携した交通安全街頭指導の実施	小瀬小、笠木小とも、登下校時の見守りを実施。目立つようにスタッフのキャップ、ビブスなどの購入している。	登校時と朝の交通ラッシュが同時間帯なので、継続と人員の確保が課題となる。
	ふれあいスクールやひまわりクラブへの協力	小学生を対象にした冬休み・夏休みの宿題を仕上げる会などで交流。地域の大人だけでなく行政サイドや地域の中学生が参加してくれた。	継続していく方向だが、2020年は感染症の拡大で実施困難か？
	セーフティスタッフ活動の強化		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○老人憩いの家（明和荘、槇尾荘）や集会所の活用 ○高齢者が外出し、交流できる場づくりの促進 ○各種サークル活動との連携 ○公共交通機関整備への働きかけ	健康教室、健康体操、ダンベル体操など健康づくり活動の実施	学校、公民館、保健センターなどと連携して健康教室、健康体操などの開催。参加者が少ない。	開催の時期、内容について検討したら開催する。広報についても工夫を要す。 地域の足下を見つめ直す好機なので、継続して実施。 現ルートで継続を希望している方が多い調査結果があり、その事を大切にしないといけない。
	カラオケ大会などのイベントを実施	カラオケ愛好会で対応。	
	西川の清掃活動への積極的な参加を呼びかけ	西区のクリーンデーに合わせ、8月に実施。小瀬小、笠木小、中野小屋中はほぼ全員参加の実績を誇る。	
	内野四ツ角を経由する区バスの運行を要望	バスルートの改善を要望してきたが、達成できなかった。利用者は現在のルートで良しとしている。	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○学校や農協、福祉施設など各種団体との連携強化 ○自治会活動の活性化、情報発信強化 ○農業地帯であるため、後継者、担い手の育成	各種団体責任者の集いの開催	座談会的なものから、地域課題の再点検といった内容に、令和元年は変えて実施した。行政関係者の指導も得て、住民の意識の掘り起こしができた。	テーマが大きいのと情勢の変化があるので、手直しを重ね、継続実施が望ましい。
	自治会長研修会の開催	市の施設見学から中越地震のメモリアル見学へとシフト。	
	農作業体験会の開催	小学校への協力、稲作、畑作。	継続。

新型コロナウイルスにより、令和2年度は中止する事業	①親子三代ふれあい会（内容を変える） ②瑞穂祭 ③西川一斉清掃 ④自治会長研修会 ⑤防災訓練
令和2年度 未定の事業	①各種団体責任者の集い ②歳末警戒

【スケジュール】 ①令和2年2月18日：委員宛て作成依頼 ②5月頃まで：コミ協ごとに検証し、作成 ③6月8日まで：提出 ④6月の推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画 2015～2019年度の5年間ふりかえりシート

コミュニティ佐湯

赤塚・みずき野・四ツ郷屋の3地区が協同して作る安心、安全な地域

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和2年3月31日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○学校開放や地域施設を活用し、地域住民の交流推進 ○高齢者や子どもたちの茶の間、居場所確保 ○地域活動グループの確保	学校やメイワサンピアとの連携	企業価値喪失により減する。	何事も、言うは易し行うは難しで、為すべきことも大事だが、如何にあるべきかが重要。 拘る事の意義、方向性を明確にする。 多くの人に参加できる環境と条件作りが必要。
	ソフトボール大会など、スポーツ大会の開催	役員有志参加者、理解者の協力・熱意により運営実施。	
	老人クラブ、婦人部等と協力した茶の間、居場所の開設	福祉関係者、学生の協力の下、定期的で開催。参加者増え、浸透を計る。	
	自治会・町内会の集会所、公民館・公会堂を有効活用	地域で異なるが、利用し憩いの場とし、コミュニケーションを取っている。	

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○防犯対策を検討 ○交通事故や犯罪増加のため、防犯灯、信号機、歩道など、施設設備と環境整備を拡充 ○被災者や避難者の受け入れ施設、住居の検討、確保	高齢者や子どもたちの見守り隊の実践	各地域に於いて安心安全面から実施	各地域の将来性、展望の観点から言えば、協働による参加、負担、理解と行動、実践力が必要。 メンバーの一層の高齢化と固定化。 関わりを持たず部外化的傾向あり。
	夜間パトロールの実施	温度差があり、一概には言えない	
	災害避難所マップの作成、配布	市作成のものを利用更に詳細化、明確化	
	地元消防団との連携、消防団活動への後方支援	自主防災会への協力 有事に備えて日々訓練している	
	セーフティスタッフの体制強化	有志、ボランティア活動に理解のある人によって実行、運営	

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○地域外の人のごみ捨てを防止する環境づくり ○自治会と学校で協力、連携したクリーンアップ活動の推進 ○高齢者の交通手段を検討 ○古くからの地域行事、慣習（慶弔や地元の確認）を通じてつながりや交流を促進 ○健康寿命をのばす予防事業などを展開	不法投棄、地域外の人のごみ捨てに対する地域での監視強化	看板立てや定期的クリーン活動	各地域での活動と意識改革は必要。 活動には負担とリスクが伴う。 交通アクセスは良くない。車が無ければ不便。 相手のある事なので簡単には進捗せず、目に見える変化は現状ない。
	地域の老人クラブや親子で歩道等の環境整備	コミュニティ、自治連、自治会等、地域の景観保持、美観のため尽力	
	佐潟のクリーンアップ活動の継続		
	バス路線拡大の要望を継続	現状維持、改善の為の実行、努力はしている	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○広報活動の活発化による情報発信の充実 ○定期的に各種団体との情報交換を実施、連携の強化 ○赤塚・みずき野・四ツ興野の各地区から担い手を発掘、確保 ○今のつながり「向こう三軒両隣」＝地域ネットワークの継続	コミ協や自治会・町内会の広報紙による地域情報の発信	発信や周知は定期的に広報紙、回覧等で提供。方向性を示す。 みずき野は定期的に朝市開催。 赤塚はきりんカフェをやっている。 四ツ郷屋は多目的に活用。 地域発展の為、相互連携し、課題解決の努力をし、実行している。	地域毎に歴史、伝統、慣習、方向性、環境条件の違いはあるが、コミ協が関わる事により情報共有、意思疎通、課題解決、問題の提議等、密度が深化。 地域発展の為には、協調と抑制、大同団結が必要。
	広報誌の全世帯配布（年4回）		
	コミ協の会議などで、地域の課題を話し合いながら、団体間の連携を強化		
	イベントの開催など地域活動の機会を提供し、またボランティア協力者を募集		
	声かけなどの訪問先の情報整備（高齢者や要援護者など）		

【スケジュール】 ①令和2年2月18日：委員宛て作成依頼 ②5月頃まで：コミ協ごとに検証し、作成 ③6月8日まで：提出 ④6月の推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画 2015～2019年度の5年間ふりかえりシート

坂井輪中学校区まちづくり協議会

明るく、楽しく、元気よく暮らせる地域を目指して

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和2年7月30日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○地域包括ケアシステムの構築とその取り組みの推進 ・高齢者への見守り・支えあいネットワークの構築 ・高齢者の孤立・孤独死の防止 ・認知症対策の推進 ○子育て支援の充実と地域子育てネットワークの構築 ○障がい児・者に対する地域支援の推進	自治会館・公民館等を利用し、地域の茶の間の開設	チームさかいわ.チームもぐら2チームでゴミ収集を実施	利用者が年々増加今後も取組対応
	さかい輪ふれあい収集事業		
	友愛訪問員の拡大	三者合同研修会の実施	継続し地域の絆を浸透へ
	介護予防リーダー研修	春秋の街頭立証し運動展開	
	認知症などの問題解決プロジェクト結成		
	地域と学校との連携によるあいさつ運動の展開		
	親子の居場所プレーパークの実施		
	子どもと高齢者とのふれあいの場作り		
福祉作業所製品の販路拡大支援			

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○交通安全運動の推進 ○防災組織づくりと防火・防災訓練活動の推進 ○防犯ボランティア活動等の推進	小学校を対象とした交通安全教室の実施	夜光反射材と効果チラシの配布 街頭指導と広報実施	継続実施し普及を図る
	高齢者向けに反射材の配布		
	交通安全運動期間の積極的参加、街頭指導		
	道路等の交通安全点検事業	安全目印「のぼり」設置	交通安全意識の効果大 継続実施
	地域の安全安心・命を守ろう推進事業		
	自主防災組織づくり支援事業	毎年秋に実施	避難所運営準備委員会 立ち上げに
	自主防災合同訓練・自治会単位防災訓練開催		
	自治会単位の防災マップ作り	災害時に対応できる人材育成に中学生,小学生対象講座	防災に対して意識高揚,重要性を浸透へ
	坂井輪レスキュージュニアチーム育成講座		
	火災報知器の全戸取り付け推進		
	高齢者に対する「火の用心」一声運動		
	災害時要援護者に対する支援活動	講習会を開催	
西警察署との連携による振り込め詐欺・悪徳商法等の未然防止啓蒙活動の実施			
防犯巡回パトロールの実施			

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○地域と連携して地球環境の保全や、環境美化活動を推進 ○文化、スポーツの活性化 ○健康づくりへの啓発活動	緑のカーテン植栽普及事業としてゴーヤを栽培し各家庭に配布	歩道の植栽をし 清掃活動実施	歩道に花のある生活の快適さ 協働活動の輪の広がりへ
	坂井輪を花で飾ろう推進事業		
	堀などの泥上げ		
	ゴミ不法投棄防止の看板設置		
	西区一斉クリーンデーへの参加	ニュースポーツの紹介、体験へ	
	寺尾地下道に子どもの絵画を展示		
	家族交流・多世代間交流スポーツの普及事業		
	さかい輪健康づくりフェスタの開催		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○自治会同士の連携・協働・ネットワーク作りの推進 ○コミュニティ活動の啓発	自治会長・役員研修会の実施	友愛訪問員、民生児童委員、自治会長等役員に対して研修、講演会	三者+行政機関の役割周知 情報共有
	三者合同研修会の実施		
	行政機関との情報意見交換会実施		
	高齢者を支える担い手育成		
	高齢者支援シンポジウムの開催	まち協活動周知と感心理解へ広報	
	広報紙「さかい輪」とかわら版の発行		
	広報紙「大道」発行		
	コミ協事業の周知活動		

【スケジュール】 ①令和2年2月18日：委員宛て作成依頼 ②5月頃まで：コミ協ごとに検証し、作成 ③6月8日まで：提出 ④6月の推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画 2015～2019年度の5年間ふりかえりシート

坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会

みんなで作る安心・安全なまちづくり

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和2年5月作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（R1年度）	成果・課題等
○みんなが集まれる集会所の開設 ○地域での見守り体制を強化	空き家や空き部屋を複数の自治会で借り上げ、自治会館とする取り組みを強化	まちづくりセンターに新たな会議室とイベントスペースを設置し共用化	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体で会議室、イベントスペース共用中 予算を確保しイベントスペースの再整備を行いたい
	友愛訪問を実施する自治会の増加	自治会長情報交換会にて、民生委員同席の上、PR	<ul style="list-style-type: none"> 代替を含め実施2～3増加 自治会と民生委員との共同化による更なる推進

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（R1年度）	成果・課題等
○明るい町内づくり ○下校時間帯の子どもの見守り活動を強化	町内パトロールを定期的実施	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長情報交換会にて各自治会の取り組み状況などを情報交換 新たに防犯部会を新設 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの各自治会は精力的に取り組み中 新設した防犯部会を中心に組織化を行いパトロール等を強化
	防犯灯のLED化		
	夜回り活動の実施		
	子ども110番のメンテナンス	小学校や見守り隊が中心となり実施	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有化済み 新設の防犯部会を中心に具体策を展開
	犬の散歩や花の水やりなど、普段の生活リズムの中で見守りを実施	各種会合時に呼びかけを実施	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各部会や関係団体の取り組みを通じ意識が高まるよう働きかける

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（R1年度）	成果・課題等
○あいさつしやすい地域づくり	老若男女問わずあいさつをする環境づくり	小新中学校、区地域課と協働し、翌年度より活動を実施することで合意	同左
○高齢者の健康増進とコミュニケーションづくりを推進	元気塾を開催する自治会の増加（年2回程度）	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長情報交換会にて情報交換 居酒屋「かっちゃん」の取り組みを開始 	同左

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（R1年度）	成果・課題等
○まちづくり協議会の事業を広報	広報紙を年2回発行	<ul style="list-style-type: none"> 実施中 新たに広報部会員1名増員 	同左
○まちづくり協議会の活性化	自治会長研修会を開催	自治会長情報交換会を年3回実施	同左

【スケジュール】 ①令和2年2月18日：委員宛て作成依頼 ②5月頃まで：コミ協ごとに検証し、作成 ③6月8日まで：提出 ④6月の推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画 2015～2019年度の5年間ふりかえりシート

東青山小学校区コミュニティ協議会

地域みんなで思いやり、助け合い、声をかけあい子どもも大人も高齢者もみんなが大切にされる ” あったかいまち”

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和2年6月5日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○学校の地域連携室や空き店舗、空き家等の活用による地域の拠点、集会所づくりの促進 ○町内祭りや子ども会行事の開催により、地域の活性化、多世代交流を促進	イオンコミュニティ広場の活用（地域の人たちが集う憩いの広場） ・絵手紙、絵画教室、折り紙体験等	「東青山すくすく広場」は、原則月4回開催し5年間で延べ6000名弱の親子が来場。「絵手紙の集い」「楽画季の会」「クラフトバック作り講習会」「おもちゃ病院」等を開催。秋に合同作品発表会を開催し毎年地域の方約200名が来場。	「東青山すくすく広場」は、毎年1回白黒コピーチラシをコミ協内自治会に回覧してもらっていたが、まだ知らなかった方も多く、年2回カラーチラシを回覧してもらう事にした。
	東青山ふれあい祭	「東青山ふれあい祭り」は、毎年参加者約2800名。当コミ協は「駄菓子屋」を担当した。雨の年もあり、その場合は体育館での開催となった。	雨や風が強い場合体育館での開催となるので、出店等の場所について一考しなければならない。
	東青山もちつき大会	「東青山ふれあいもちつき大会」毎年参加者約230名。地域からのお手伝い50名強で開催。「小学生元気はつらつビンゴゲーム大会」も同時開催。	1月第2土曜日に開催していたが、2年連続（ノロウイルス・大雪）で中止となったので、今は12月第1土曜日に開催している。
	お茶の間サロン	「いこいの広場」に、将棋や碁を用意して楽しんでもらった。東青山1丁目自治会がイオンコミュニティ広場で、平島地区4自治会合同で平島公民館にて「お茶の間サロン」を月1回定期開催。	「いこいの広場」に、将棋や碁を用意して楽しんでもらったが、もっと多数の人に来てもらい楽しんでほしい。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○向こう三軒両隣の交流を深め、地域による安否確認等の促進 ○夜間における安全対策の強化	防犯協・自主防災会との連携	毎年10月第3金曜日に「地域・小学校合同避難訓練」を実施。参加者は児童を含め約650名強。	「地域・小学校合同避難訓練」に、もっと多数地域の方に参加して欲しい。
	防犯パトロールの実施	年3回の防犯パトロールを実施。日頃の防犯パトロール活動に対して、新潟県警から、また西警察・新潟市からも感謝状の贈呈を受けた。	児童の帰宅時間に合わせて防犯パトロールを実施しているが、児童を見かける人数が少ない時もあった。
	交通安全街頭指導の実施	東青山小学校区交通安全推進協議会・児童見守り隊と連携して交通安全の見守りを実施。	今後も、東青山小学校区交通安全推進協議会・児童見守り隊と連携して交通安全の見守りを実施したい。
	地域安全マップの活用	安全マップを見直し、新しく作成することにした。（令和元年度）	今後も、地域安全マップを活用したい。
	防犯灯の増設	通学路に設置してあるコミ協管理の防犯灯を、1灯増設、既存の4灯をLED灯に取り換えた。（令和元年度）各自治会ごとに増設やLED灯に取り換え等をした。	今後も各自治会ごとに、増設やLED灯に取り換え等をお願いしたい。
	声かけ運動の実施	各自治会ごとに実施。	今後も各自治会ごとをお願いしたい。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○地域における環境美化活動など、地域活動の推進 ○車中心から歩行者中心のまちづくりへの転換 ○自転車歩行者道を活用した健康づくり	花いっぱい運動の実施（公園、道路等）	「まちの緑化運動」推進キャンペーンを実施。当コミ協内のいくつかの自治会で「花いっぱい運動」を実施。	東青山小学校グラウンド脇遊歩道を「ひがしあおやまフラワーロードの会」が、花を植えたり整備をするのでお手伝いをする。
	古紙集団回収の実施	各自治会ごとに実施。	今後も各自治会ごとをお願いしたい。
	ゴミの不法投棄や犬のフン放置などに対する注意喚起看板の設置	「西区一斉クリーンデー」を実施。同時に「蚊の撲滅運動」を展開。 「犬の糞対策」のキャンペーンも併せて実施。	「西区一斉クリーンデー」「犬の糞対策」をコミ協だよりに掲載し、次回よりの参加を促したり、注意喚起をしたい。
	健康ウォーキングの実施		天候に左右される行事のため、なかなか難しいが計画してきたい。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○民生委員・児童委員と自治会との連携強化 ○回覧板、掲示版等の有効活用による広報活動の強化 ○コミ協、自治会役員のレベルアップ研修やボランティア講座の充実 ○子ども達や学生をはじめ、多くの人の力を取り入れ、地域活動を活性化	コミ協・自治会・民児協等の連携、地域合同情報交換会の実施	地域合同情報交換会実施（毎年6月の中旬に）	地域の連携強化を目的に、今後も実施予定。
	コミ協だよりを年4～6回発行	「コミ協だより」定期号を年2回、臨時号を4回発行。	定期号・臨時号ともに内容の充実を計り、多くの地域情報の発信に力を入れたい。
	講演会、講習会の実施	文化講演会を実施。 全自治会長・コミ協役員を対象とした研修会の実施。（令和元年度）	小針中学校健全育成協議会との協力のもと、「文化講演会」を運営実施したい。 小針青山公民館の「出前講座」を初めて利用した。
	掲示版の整備	防犯掲示版の整備は、申請を行ったが申請団体多数のため不交付。 コミ協事業として、令和元年2自治会に実施。	防犯掲示版の整備は、申請を行いつつ申請できない場合は、コミ協事業として行っていきたい。
	自治会長連絡会議の開催（年2回）	年2回実施（6月・12月）	コミ協・各自治会の連携をとるため、年2回実施したい。
		「西区一斉クリーンデー」「新潟シティマラソン」に小針中学校生徒も地域貢献として参加。 小針中学校生徒との「地域ふれあい交流会」を企画し、実施。	小針中学校生徒も地域貢献として、いろいろな行事に参加して欲しい。 小針中学校生徒との「地域ふれあい交流会」で出た話題を、持ち帰り活用していきたい。

【スケジュール】 ①令和2年2月18日：委員宛て作成依頼 ②5月頃まで：コミ協ごとに検証し、作成 ③6月8日まで：提出 ④6月の推進委員会で報告

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○地域における居場所づくり ・集会所、寺尾中央公園（休息所）、コミュニティハウス、寺尾荘の活用など	地域の茶の間を増設	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会毎に1か所づつ「茶の間」が設置できるよう取り組んだ。（21自治会の内、10自治会が設置している。） （自治・町内会により異なる） ●空き家を借入たく家主と交渉した結果、借り入れ出来、「茶の間」を開設した。 ●民生委員宅を月2回「茶の間として開放しても良い」との話があり準備を進めた結果、開設することが出来た。 ●親子や高齢者が孫と一緒に参加できるよう、子ども向けのゲームを準備し参加を呼び掛けたが子供の参加が少なかった。（ピーアール不足を感じた。） ●茶の間の一環として麻雀、将棋、碁等の倶楽部を作る準備を進めた結果、各々の部が出来た。中でも健康麻雀教室は大盛況で、大変喜ばれている。 ●茶の間を利用し「健康測定」を行い、保健師、栄養士、包括支援センター職員による健康指導を受け「健康寿命の延伸」に取り組んだ。又、三味線やアコーディオンに合わせ歌を唄ったり、苔玉、手芸、折り紙、パソコン、スマホ、脳トレ等、指先を使い老化防止に取り組んだ。みんな生き生きと参加していた。 ●相続関係の法律が変わったのを機に講習会を開き勉強した。又、茶の間と敬老会と一緒に開催し西警察署員から交通安全や振り込み詐欺等について、お聴きし事故防止に取り組んだ。 ●自治会内の福祉施設が住民を対象とした「茶の間」を開催しているの、その「茶の間」を利用させていただいている。 ●茶の間活動を活発化する為、老人クラブと連携し取り組んでいる自治会もあった。 ●10年以上継続して「茶の間」を開設している自治会が数か所あった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●居場所作りは高齢化社会に必要なことだと実感した。年々、高齢者が多くなっており、家に閉じこもりがちな生活をしている一人暮らしも多い。空き家を借入れ「居場所」や「茶の間」作りが出来ればと良いと考えている。 ●高齢者だけでなく、親子や孫と一緒に参加できるような茶の間にしたい。（周知徹底を図る。） ●どこの「茶の間」も男性の参加が非常に少ない、どうしたら参加してもらえるのか、「呼びかけ方」「開催内容」等、検討する必要がある。 ●茶の間の参加者数が増えている自治会もあるが、減っている自治会もある。マンネリ化しないよう、新たなテーマを発掘し、住民へ周知徹底を図り、参加者増に努めたい。 ●介護予防、高齢者支援活動を推進していきたい。 ●スタッフの高齢化が進んでいる。若返りが必要である。 ●設置したいが近く（自治会内）に場所がなく設置できなかった。
	空き家の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> （自治・町内会により異なる） ●家主と交渉し集会所を確保できた自治会は活動が活発になった。 ●空き家を交渉したが家主は売却を希望しているため難航している。又、家賃、道路状況、駐車場等の条件が整わず借入れ出来なかった自治会もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●借家の管理方法、集会場としての使い方等を検討し、住民が使いやすい集会場にしたい。（参加者が楽しめる茶の間を開催したい。） ●借り入れる事が出来たが、集会所の家賃が高い、市の補助率を上げてほしい。 ●老朽化した「空き家」や「空き地」の草や不法投棄の対策が今後の課題である。
	五十嵐フレンドスクール、ひまわりクラブ、五十嵐スポーツ振興会など各種団体と地域が協力して実施	<ul style="list-style-type: none"> ●五十嵐フレンドスクール、ひまわりクラブ、ふうせんクラブは民生委員児童委員等の協力を得て活動した。 ●自治会館を週1回開放し児童クラブを運営した。町内ボランティアと小学生の交流の場が出来、喜ばれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●五十嵐フレンドスクールのボランティア募集や、ふうせんクラブへのお誘いを積極的に呼びかける必要がある。 ●今後も、交流の場、見守りの場、支え合いの場となるようにしていきたい。
	地域の祭りやサークル活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> （自治・町内会により異なる） ●地域の公園やコミュニティハウスを会場としてバーベキュー、敬老会、収穫祭、忘年会、餅つき、新年会、豆まき大会を行った。夏祭りでは「子どももきぬた」や「お神輿」で町内を巡る等、育成部や老人クラブの協力を得て取り組んだ。又、日帰り旅行、氏神様の祭り、盆踊り大会、ふるさと歴史探訪ウォーキング等、世代交流事業に取り組んだ。 ●空き地の不法投棄防止や環境美化の為、空き地の整備に取り組み、人参、玉葱、ジャガイモ、サツマイモ、落花生、カボチャ等を栽培し収穫祭に繋げることが出来た。どの行事も住民が喜んで参加しているので、やり甲斐があり、成果は大であった。 ●毎年、役員とボランティアが役割分担し夏祭りを開催して来たが、年々ボランティアが少なくなって困っている。 ●自治会内の学園祭を周知し、学園と地域の交流の場を設けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●住民が楽しみにしている事業は今後も継続する必要がある。 ●復活させた「盆踊り」を若い世代へ繋ぎ、地域の一体化を強めたい。笛、太鼓など伝承行事を、小・中学生に引き継いでもらい活発化を図りたい。 ●家族や住民の絆が深まるような事業を行い、住民が参加しやすい場を作りたい。 ●交流事業終了後、子供に限らず住民が声を掛け合う様になり、世代間交流の成果は大であった。 ●仕事内容が厳しいのか、ボランティアが減少している。事業内容を検討し男性の参加が得られるような組織作りが必要だ。 ●開催場所がない等の理由でイベントやサークル活動が出来ない地区がある。
	坂井輪まつりへの協力	<ul style="list-style-type: none"> ※祭り会場の近隣自治会は全面的に協力した。 ●会場のテント張りや、交通安全協議会西支部の要請により駐車場の交通整理に協力した。又、民生委員はフリーマーケットの販売委員として参加した。 ●近くにある自治会館をフラダンスや交通安全協議会の控え室として利用してもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も継続し協力していきたい。

○近隣（向こう三軒両隣）における助けあいの関係づくり	あいさつ運動、声かけ運動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●コミ協では、あいさつ運動、交通事故防止運動、火の用心の「のぼり旗」を全自治会へ配布し、新入学時や交通安全運動期間に「のぼり旗」を掲げ、立哨時に学生や通勤者へ「あいさつ」や「交通事故防止」の声掛けを行った。 又、近所（向こう三軒両隣）へ積極的に「声掛け」を行い、より良い関係づくりを推進した。 ●通勤、通学者から声を掛けてくれるようになり「あいさつ運動」が浸透したことを実感した。又、「あいさつ運動期間」に子どもへ声掛けをしたら怪訝そうな顔をされた。少し残念だった。 ●小学校の仲良し子ども会に参加し「交通安全」や「あいさつ運動」を推進した。 ●昼と夜に町内パトロールを年2回～4回行い、危険箇所等の点検に取り組んだ。 又、警察官同行で夜間パトロールを行っている自治会もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●これからも挨拶運動、声掛け運動を実施して行く。 ●挨拶運動期間に限らず日常的に「挨拶」や「声掛け」が交わされる環境づくりが必要である。そのためには、老若男女が参加できるイベントを行い、顔見知りになる「キッカケ」づくりが必要である。 ●常日頃、誰もが気軽に声かけが出来る「安心安全な街づくり」を目指したい。
	気づき運動（近所の様子への気配り）の実施	<p>(自治・町内会により異なる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や障がい者世帯を定期的に訪問し、声を掛けを行い安否確認に取り組んだ。時には民生委員が同行するケースもあった。対象者から大変喜ばれている。 ●班ごとに福祉支援員を配置し、見守り、時には訪問し、気づき運動を行った。支援員間では情報交換を年3回行い見守り活動に役立った。 ●積極的な訪問をしないが、気になるケースを近隣で気配りし、ゴミ出し支援をしながら見守り活動を行った。又、自治会情報を毎月、全世帯へ回覧し安否確認に繋げている。 ●訪問活動で住民の死に立ち会うことがあった。更に見守り活動を強化した。 ●クリーンにいがた推進員の協力で道路、玄関先の飛散物撤去や樹木の剪定に取り組み、事故防止に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●対象者は訪問を大変喜んでいる。声掛け、安否確認の訪問回数を増やすよう検討したい。 ●高齢化に伴い、年々、独居老人が増加している。60歳代の孤独死があった、1週間、気づけなかった。ゴミ出し支援や友愛訪問活動の輪を広げ、「気づき運動」「見守り体制」の強化が必要である。 ●子供や高齢者が安全で安心して暮らせる町づくりに努める。 ●友愛訪問の対象者を見つけるのが難しい。
	セーフティスタッフ活動（登下校時の見守り等）の活発化	<ul style="list-style-type: none"> ●見守り隊を立ち上げるため隊員募集に取り組んだ。見守り隊を立ち上げ活動を開始した。 ●セーフティスタッフと見守り隊が組んで登下校の見守り活動に取り組んだ。 ●毎朝、小学校入口交差点で交通指導と見守りを行っている。 (スタッフがいらない地区や、下校時の見守りが出来ない地区もあり、自治会にバラつきがある。) ●保護者からセーフティスタッフや見守り隊へ感謝の言葉が多く寄せられ活動に力が入った。 ●町内では小・中学生がいないので取り組みをしていない自治会もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども達が安心して登下校できるよう、今後もセーフティスタッフと見守り隊が組んで活動を続ける必要がある。 ●下校は学年により時間帯が異なる、下校時の見守りが出来ない地区があるので、こども110番の周知を徹底する必要がある。 ●セーフティスタッフの配置について検討する必要がある。
	地域の安全マップの活用、情報共有	<p>(自治・町内会により異なる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校の町内子供会に参加し町内の危険箇所を教えてもらい、早目に補修でき大変良かった。 ●町内の住宅地図や避難経路マップを全世帯へ配布し情報の共有を図った。 ●自治会と育成部で危険箇所や交通状況等のパトロールを行い、必要に応じて小学校へ報告し情報の共有を図ったり、問題解決に取り組んだ。 ●学生アパートの多い地区は年度初めに学生向け「ゴミ出しルール」を作成し周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅地図や避難経路等地図を配布した町内もあるが、これから製作を検討する自治会もある。 ●避難所と、その経路を再確認し情報の共有を図りたい。 ●一人暮らし高齢者が多い、大災害が発生した場合の「向こう三軒両隣」の協力体制、避難時の声掛けなどを徹底し高齢者の情報を共有できるようにしたい。 ●学生のゴミの出し方が悪く住民は頭を悩ましている。「ゴミ出しルール」を徹底させたい。
	防災訓練への積極的な参加	<p>(自治・町内会により異なる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コミ協は全自治会へ呼びかけ、寺尾中央公園、五十嵐1の町広場、五十嵐小学校グラウンドを会場とし、大々的に防災訓練を6年間で3回行った。「起震車の体験が出来た」と喜んでた。 又、独自開催が困難な自治会から「参加して良かった」という声があった。やり甲斐があった。 ●防災訓練を毎年、独自で実施している自治会が数か所ある一方、近隣の自治会と一緒に実施したり、地区内の学校や福祉施設と合同で取り組んでいる自治会もあった。防災意識を高めると同時に避難場所の周知を図ることが出来た。 又、学園生や学生と一緒に訓練出来きたことを「頼りになる」と住民は大変喜んでた。 尚、防災対応の為、避難所で炊き出し訓練を行い参加者へお配りした。 ●新潟医療技術専門学校へ「避難訓練」を呼びかけ合同で実施した。両者から喜ばれ良かった。 ●役員と班長は区役所職員による「避難所開設訓練」の指導を受け、今後の活動に結びつけた。 ●火の用心の「のぼり旗」を設置し防火に取り組んだ。 ●秋の「火災予防運動」期間中、子ども会、保護者、町内役員による「火の用心」の巡回を実施し「火災予防」につとめた。 ●自主防災組織を結成した自治会もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●防災訓練が出来ない地区もある為、コミ協は今後も場所を変え実施して行きたい。 ●近隣の自治会や地域の学校、学園、福祉施設と合同で防災訓練や避難訓練を継続して実施できるようにする。参加者増と防災意識の高揚に努める。 ●防災訓練の内容がマンネリ化しないよう実施計画を立てる。 ●自治会単独の訓練だった為か、避難所を利用することが出来なかった。避難所で訓練が出来るよう計画したい。

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○寺尾中央公園をはじめ、公共施設の有効活用	朝のラジオ体操、健康体操の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●寺尾中央公園広場では、毎朝7時から健康体操を、7時20分からラジオ体操を行っている。健康維持目的だけでなく、体操終了後は情報交換の場となり参加者は喜んで参加していた。 (自治・町内会により異なる) ●夏休みのラジオ体操は子どもが中心で、休みの前半に実施している自治会が多い。児童数の少ない町内は、隣の町内へ依頼し一緒にラジオ体操を行った。 ●体操会場がない自治会は学校、銀行、スーパー等の敷地を借り夏休みラジオ体操を実施した。 ●介護予防を目的とした体操を包括支援センターと一緒に取り組んだ。住民から喜ばれている。 ●ハマナス公園の草取りを月2回行い、終了後は珈琲等を飲む「住民の憩いの場」となっている。夏休みはラジオ体操会場にしている。 ●どこの自治会も必要に応じて公園の除草を行い環境整備に努めていた。 ●毎年、清心女子中学・高等学校のボランティアが区内、2か所の公園清掃を実施している。住民は大変喜んでいて。 	<ul style="list-style-type: none"> ●寺尾中央公園広場での体操は参加者も多く、体操への関心度が高い、今後も継続して実施してほしい。 ●夏休みラジオ体操は子供達だけで行っている町内が多い。住民(高齢者)も一緒に参加し、夏休みが終了しても、高齢者の健康維持のため通年実施するよう計画を立て、健康寿命の延伸に繋げることが出来たらと考える。 ●介護予防体操への関心は非常に高い、継続して取り組むようにしたい。 ●子供の数が少なく夏休みラジオ体操が消滅しそうだ。3年後には児童0人となる自治会がある。
	利用に当たってのルールづくり、環境整備（ボール遊びや自転車乗車など、禁止されている使用方法を可能とする時間帯を設定）	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅街の公園は狭く子供達がボール投げ等が出来ない。近所に迷惑が掛からないよう運動種目やボールの材質を変えたり、サッカーはドリブルだけと、制限をして遊ばせている。又、各家庭では迷惑にならない遊び方を話し合ってもらい周知を図った。近所の理解が得られ良かった。 ●中央公園は多くの市民が訪れ利用する場所である。壊れている遊具や階段、坂道の手すり等危険箇所がないか注意し見守りを続けてきた。又、危険箇所は区へ報告し修理、補修等をしてもらった。今後も見守りを続けて行きたい。 ●中央公園の花いっぱい活動に参加し環境整備に努めた。今後も環境整備に協力したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●中央公園は多くの市民が利用する場所である、危険箇所や壊れている遊具等がないか見守りを続ける必要がある。市民が安全で安心して遊べる公園にしたい。 ●中央公園の一部を「ボール投げ」や「自転車の乗り方を教える場所」として開放してほしいという親の声がある。自転車の乗り方を教えたいが場所がなく困っている。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
------	----------	-----------------	---------------

○自治会・民生委員・児童委員・学校・行政・社協などの連携強化	定期的な連絡会議の開催	<p>コミ協では</p> <ul style="list-style-type: none"> ●正副会長及び事務局長の合同会議を毎月1回開催した。 ●役員会を月1回、理事会(自治会長)を隔月に、総会を1回、開催した。 ●5つの部会がある、各部会とも幹事会、部会員会議を開催した。(年4回程度) ●どの会議も情報の共有が出来、活動がスムーズに運び、事業がやり易く良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後ともこの形を継続して行きたい。
	自治会単位(班、組などの小グループ)での話し合いの実施	<p>(自治・町内会により異なる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●毎月1回役員会を、隔月に役員と班長の合同会議を、総会を1回開催している自治会がある。 ●役員会を年4回開催し、班長との「やりとり」を頻りに文書やメールで行っている自治会や、会議は開催しないが「月の動き」を文書化し全世帯へ回覧している自治会もある。それぞれの自治会が独自のやり方で話し合いを行っていた。又、班会議を年1回開催し終了後に、懇親会を行い相互の情報交換を行った自治会もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後ともこの形を継続して行きたい。 ●自治会活動の最小単位は班活動である。お互いが協力し合い活発な活動が出来よう、班内会議を積極的に開催する必要がある。
	地域の広報誌発行	<p>(自治・町内会により異なる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コミ協だより「砂丘」を年2回、ミニ通信を年4回発行し、情報提供や活動報告を行った。 ●各自治会では月2回、年4回、年2回等、広報誌の発行回数に差はあるが、住民への活動報告や情報提供に取り組んでいた。 ●広報誌を発行しない自治会は、月の予定や行事等を回覧や掲示板を利用し周知を図った。 ●どここの自治会も、何らかの方法で住民へ情報提供や活動報告を行っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コミ協では住民へ情報提供、活動報告をするため、継続して広報誌を発行する。 ●自治会活動を理解してもらう為にも、継続し発行して行きたい。 ●独自の広報誌を発行したいと考えている自治会もあった。
	地域住民の知識、技術の活用	<p>(自治・町内会により異なる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パソコンに長けている人によるパソコン教室をお茶の間の一環として取り組んだ。月4回開催し、文章、表計算、年賀状等が作れるようになった。自治会の行事用ポスターやチラシ等の作成に協力した。 ●農業に知見のある人を中心に、空き地の不法投棄防止や環境美化の為、空き地の整備に取り組み、ジャガイモ、サツマイモ、落花生、カボチャ等を栽培し収穫祭に繋げ住民に大変喜ばれた。 ●防災士の養成に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も活動が継続できるようにするには、後継者づくりが課題である。
	地域活動の担い手の発掘	<p>(自治・町内会により異なる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●役員や班長は輪番制である。次の当番へ早めに事業内容を説明し自治会活動を理解してもらうよう取り組んだ。引継ぎがスムーズにいくようになり助かった。 ●自治会活動を活発にする為、組織作りに取り組んだ。30代の「青年部」や「お助け隊」の組織が出来た。青年の積極的な協力により行事が活気づき大変助かった。 ●諸行事を実施することにより、色々な特技を持っている人を発掘することが出来た。その特技を生かした行事を実施することが出来、大変良かった。 ●役員に民生委員を加え「茶の間」に関わってもらった。色々な情報が得られ助かった。 ●自治会役員業務の負担軽減化を図るためNPO法人へ事務補助を委託した。役員の業務が軽減でき大変助かった。 ●友愛訪問員やクリーンにいがた推進員の増員に取り組んだ。増員できた自治会もあった。 ●コミ協では海岸清掃、遊歩道の除草作業に取り組んだ。市民が気持ちよく利用できるよう今後も取り組みに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会役員を輪番制にしたらフルタイムで働いている人や、高齢者が役員に当たることもあり、自治会活動に制限を受ける事があり困っている。又、輪番制を何とか保ってきたが、輪番による役員を拒否する人が出て、町内会を脱退する動きが出はじめた。近所間が疎遠になるような事がないよう、何とか打開策を考える必要がある。尚、働きながらの自治会役員は活動に限界があり、経済的な裏打ちが出来ず八方塞がりである。 ●年々、町内活動に消極的な人が増えている。特に役員の選出には苦慮しており、役員の負担の軽減策を模索中である。 ●どここの自治会も役員、班長、民生委員児童委員、友愛訪問員のなり手がいなく困っている。 ●NPO法人へ可能な限り事務補助を委託し業務の軽減を図りたいと言う自治会もあった。 ●自治会活動を活発にするには各部会間の連絡を密にし、老人クラブや育成部と連携を取り協力しながら活動する必要がある。(人員不足の解消にもつながる) ●海岸清掃や遊歩道の除草作業は人手が必要である、参加者増を図り続ける必要がある。

- ・回答 全自治会回答 21/21
- ・茶の間の開催は、21自治会の内 10自治会が開催している。
- ・茶の間を開催したいが集会場がない、コミュニティハウスは遠すぎ不便である。空き家に限らず開催場所を早く見つけたい。

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画 2015～2019年度の5年間ふりかえりシート

真砂小学校区コミュニティ協議会

みんなで支えあい、だれもが安心して暮らせるまちづくり

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和2年6月1日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○認知症の人を支えるしくみづくりの推進 ○女性の地域活動参加を促進 ○高齢者や障がい者の買い物支援の検討	認知症サポーター養成講座の開催	各自治会に「認知症サポーター養成講座」の開催を促してきたが、開催した自治会が3分の1程度にとどまった。	さらに開催を促していく必要がある
	自治会役員等の女性登用	自治会等、地域の各種組織で女性役員の登用が多くなり、女性の活動する場面が多くなった	望ましい傾向になって来ているが、さらなる女性の活躍を望む
	向こう三軒両隣の助けあい活動	仲間同士や有志での部分的な助け合い活動はほとんどの自治会の中で行われているが自治会全体で組織的な活動をしたり支援組織を作っている自治会はまだ少ない	コミ協で支援組織を作ることも検討していかなければならない
	支援組織（グループ）の立ち上げ		
	地域の商店への働きかけ（宅配）	地域内には商店が少なく時に大型店舗が少ない。個人商店では近所に配達してくれてはいるが、経営者の高齢化だったり、閉店する店が多かったりと思うようにいかない	買い物に関しては地域全体で考えていかなければならない大きな問題である

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○安全な通学路の確保（防犯、交通安全） ○自主防災活動の活性化 ○防災に対応した生活道路の整備 ○空き家、空き地問題の対策検討 ○除雪要援護世帯への支援	子どもたちを気づかい見守る人を育成	PTA等各種団体による巡視・見守りや、コミ協安全防犯部会での青パトによる巡回・防犯パトロールの実施によって交通安全・防犯対策に成果を上げている	引き続き、実施していく
	防災研修、活動交流の推進	コミ協防災部会による防災研修・活動交流を毎年行い、地域の住民の士気の高揚を図った。	今後も地域の実情に合った研修を続けたい
	自主防災組織の立ち上げ（未組織の自治会）	各自治会の自主防災会で、毎年工夫をしながら防災訓練を実施している。	引き続き、実情に合った訓練等を実施することを促す
	道路整備や空き家対策の行政への働きかけ	狭い市道の拡幅や空き地・空き家の対策を行政へ要望してきたが、なかなか難問題である。	行政との対話を重ねながら、地域で何が出来るか考えていきたい
	除雪ボランティアの組織づくり	約3分の1の自治会が除雪ボランティアを組織している	組織しているところは、成果を上げている。より多くの自治会での組織化を促進したい

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○スポーツを通じた健康増進（介護予防を若い世代から） ○高齢者の引きこもり対策	健康増進体操等の講座を推進	コミ協スポーツ部会、福祉部会及び各自治会で講座を実施、成果を上げた	誰でも参加出来るような条件を備えた講座を考えていきたい
	健康講座指導者の育成	コミ協人材センターの設立を検討しているが、まだ設立にも、指導者の育成にも至っていない	人材センターの設立を検討していきたい
	自治会単位で地域の茶の間を開設	「地域の茶の間」を開設した自治会及び検討中の自治会が年々増加している	多くの自治会の開設が出来るよう支援したい
	高齢者が集まって、運動や趣味活動、交流ができる場づくり	地域の社会文化活動の拠点とまちづくりセンターとしての役割を担うコミュニティハウスの建設を市に要望中	引き続き要望していく

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○地域課題の把握 ○小・中学校、高校、大学や病院、福祉施設等と地域のネットワーク強化（多世代交流含む） ○地域の生活環境の改善	住民アンケートの実施	平成26年度に住民アンケートを実施。それらを参考に「真砂地域活性化5ヶ年計画」を策定。推進に努めた	今後も計画的なアンケートの実施をしたい
	座談会の開催地域を増加	各自治会、また他自治会との懇談会を促してきたが、まだ十分とはいかなかった	計画的な取り組みが必要
	自治会と民生委員・児童委員の情報の共有化	各自治会と民生委員が情報の共有を図り、連携するよう促してきたが、自治会によりばらつきが見られた	民生委員の担当区割が自治会の区域に一致しないところが多くあり困難なところがある
	地域と学校や病院、福祉施設等の共催事業の開催	コミ協主催「真砂文化祭」等で地域と各施設との共催事業を開催することによってネットワークの強化が図られた	今後も工夫をこらしながら強化に努めたい
	ゴミの出し方、ペットのマナー等のルールの徹底	コミ協環境部会で「犬猫問題懇談会」や「ゴミ出し講座」等を開催し、生活環境の改善を図った。各自治会でも「地域ねこの会」を発足させたり、ゴミ集積所の見回りやクリーン作戦の実施等を実行してきた	引き続き各自治会での徹底を促す また、飛砂対策の浜にんにく植栽等も実施していく

【スケジュール】 ①令和2年2月18日：委員宛て作成依頼 ②5月頃まで：コミ協ごとに検証し、作成 ③6月8日まで：提出 ④6月の推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画 2015～2019年度の5年間ふりかえりシート

青山小学校区コミュニティ協議会

共助・共生 活気と温もりのまちづくり

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和2年6月30日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○交流拠点の充実 児童、障がい者、高齢者など地域住民の交流の場としての茶の間を充実	既存の茶の間との連携強化 有明福祉会館、青山コミュニティハウス、マナの家、個人宅など7か所	①有明福祉会館(なごみの部屋・月2)(らっくり・月1)②コミハ(さくら会・毎週)(関屋堀割町・月1)(青山さくら会・月1)(プランタン・月2～4)(キンヨウカイ・月2)③マナの家(たまり場・週1)④他、自治会・個人宅等7か所・・・開催状況把握と順次広報紙やチラシで地域に周知も進んだ	開催目的や内容についての周知は進んでおり参加者数も確保されているが、参加者の固定化の悩みと事業内容の充実は課題となったままであり、これらの課題解消がこれからの展望への道筋
	新たな茶の間の開設に向けた活動の展開 空き家、空き店舗の活用	「おしゃべりカフェ」や「なごみ食堂」など乳幼児や児童・高齢者対象の食堂の開設 「有明らっくり」「いきいき健康づくりの集い」「プランタン」「歌声広場」など以前の茶の間から健康寿命や生きがいや地域の支え合いを目的とした取り組みの変化あり また、増加傾向の空き家対策として茶の間や集会所としての一部活用もあるが、全体としては手つかず状態	施設(コミハ・福祉会館・児童センター等)を利用した新設の居場所づくりは増加もあり新たな茶の間開設展開へ続く見込みはあるが、空き家や空き店舗等は今後も増加予想は容易なれど活用状況は難しい
○日常生活における助けあい活動の強化	助けあい組織の確立	① 要援護者の自治会ごとの情報把握と支援体制づくり ② 友愛訪問世帯が増加している ③ ボランティアスタッフ・民生児童委員・地域住民や自治会役員等による訪問活動 ・ 殆どの自治会・町内会で進捗中・実施段階である	① 要援護者の増加傾向 要援護支援者は減少 全世帯の高齢化 ② 一人暮らしの増加と施設入所者の増加 ③ 高齢者が高齢者を見守る老々見回り活動の増加 今後の課題が山積 自己の家族の介護だけでも大変な時期へと続く 地域共生社会の確立が最大の課題
	地域に根差した活動の展開		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○災害時における対応の強化	自治会、民児協などとの連携強化	有明地区と浦山地区での地域分散で取組は共通でないところも有るが合同の防災訓練を通じ民児協を含めた連携強化は続いている	今後も、有明・浦山の両自治協及び民児協との連携は必須であり、共通の課題解決のため更なる連携強化が望まれる
	青山小学校との連携強化	青山小学校を訓練場所や避難場所としての防災訓練を重ね、合同での開催の意義と実績を積み重ねた	災害、防犯想定のみならず、見守り活動や学校行事との関わりを地域全体で続けていく セーフティスタッフの確保と活動の強化と緊急メール配信システムの登録者推進が今後の課題
	防災訓練の継続実施 有明自主防災会、浦山自主防災会	青山小学校地区自主防災会組織の立ち上げ 青山小学校での児童を含めた合同防災会の実施	青山小学校での開催は全体地域間と学校との連携強化に繋がっており、今後もこの活動を通して具体的な訓練を目指していくことが課題と展望である
○交通安全活動の推進	通学路の安全確保	セーフティスタッフや小学校PTA保護者の通学時や退校時の安全指導と見守り活動 青山セーフティスタッフの登録者の募集と活動グッズの配布	通学時や下校時のみならず、セーフティスタッフ活動が日常活動につながるような「ながらパトロール化」への展開が望まれる
○防犯活動の啓発	防犯・交通安全体制の拡充	防犯ポスターや交通安全週間の旗を掲げて啓蒙活動 通学路（青山小）登下校時の、地域見守り活動の強化	緊急メール配信システム登録者との情報伝達網 不審者情報の掲示等で情報早期共有化 等が今後も課題
○日常の見守り活動の推進 認知症高齢者や幼児・児童などの見守り活動の充実	茶の間の充実と拡大	有明福祉会館や青山コミハでの開催のみならず地区別でも実施する茶の間の数や参加者も増加傾向 おしゃべりカフェや児童センターでの乳幼児子育て支援面も拡充傾向	参加者は増加しているものと減少傾向が見られるものの、実施内容等は徐々に浸透している 参加者の固定化から、家からあまり出ない層への働きかけが課題 高齢者や乳幼児対象の受け入れ環境面等コロナ対策が大きな課題となった
	自治会、民児協、PTAなど地域組織団体との協力体制の強化	青山小学校のふれあいスクールや児童センターの児童の見守り活動は受け入れの体制が出来ている	会長やスタッフの高齢化と民生児童委員を含め引き受けてくれる人材、なり手不足は今後も全ての組織の課題である
	セーフティスタッフの活動推進	セーフティスタッフや各自治会のPTAの通学時や退校時の安全指導と見守り活動 青山セーフティスタッフの登録者の継続募集(登録者は90名前後)	登録者の更新やセーフティ活動用品の在庫管理 活動用具の交換時期の検討や用具の手配とその手段等の課題解決
	友愛訪問活動への協力 取り組み自治会への協力拡大	① 要援護者の自治会ごとの情報把握と支援体制づくり ② 友愛訪問世帯が増加している ③ ボランティアスタッフ・民生児童委員・婦人会等による訪問活動	活動の具体的な状況や問題点の把握及び情報の共有化が課題点 地域包括支援システムに向けての具体的な行動指針の構築等課題は大きい

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○有明福祉タウンや各福祉施設・医療機関との共生	施設及び地域防災訓練への参加協力	青山小学校地区自主防災会を設立し有明・浦山の両地区で開催していた訓練を青山小学校を軸に合同防災訓練の開催とした	合同防災訓練の方向性は今後も維持していくが、合同防災訓練だけでは十分な準備は出来ず、基本は個人単位で防災意識と避難準備が基本とすべきであり今後の課題 また避難所運営の委員会立ち上げと各避難所の備蓄状況等の把握も今後は重要と認識している
	有明福祉タウンとの連絡会、懇談会の開催	児童センターとの意見交換や行事等の協力体制のもと交流含め活発化している	地域包括システムづくりに向け、更なる交流拡大が必要
	有明福祉社会館の活用	青山コミュニティハウスが浦山地区にあり、有明地区自治協・民生児童委員の活動拠点として併用している	福祉部検討会や福祉講演会等、福祉活動の他なごみの部屋・なごみ食堂や有明らっきりの拠点としても活用していく
	有明福祉タウン行事への参加協力	有明児童センターを含め、各行事への共催と後援体制は確立	浦山は青山コミュニティハウス、有明は有明福祉タウンを拠点として今後も活用 行事については、これからも相互に理解しあいながら連携していく
	有明ふれあい夏まつりの共同開催 有明福祉タウンとの合同行事	有明ふれあい夏まつりに浦山自治協も計画段階から参加協力 夏の開催から秋への時期変更を実施した	雨天時の対応や催事内容は今後とも計画段階で検討を続ける
○地域交流のためのイベント開催	世代間交流事業への援助協力 そうめん流しの実施	児童センターの児童や有明タウンの高齢者主体に毎年8月に実施 世代間交流事業として「なごみ食堂」も月2回の開催実施	参加者も児童センターと福祉タウン入居者や福祉社会館利用者と固定化しており、衛生面からも一般には案内しなかった 行事運営面や準備段階での負担軽減上の課題を認識している
	有明地区ふれあいの集い、浦山地区ふれあいの集いの実施	有明地区：9月中の火曜日有明園にて実施 浦山地区：9月中の月曜日にじよいあす新潟会館にて実施	有明地区は対象80歳から、浦山地区は75歳以上で実施 楽しめる敬老お祝い会としての内容面の充実を図っていく
	環境整備活動への援助協力 関屋分水清掃及び花文字活動など	5月の土曜日に花文字花壇作り 7月の日曜日に信濃川をきれいにする会の指示のもと信濃川クリーン作戦を毎年開催	花文字の植栽参加者は増加、その後の水やりや草取りの課題、信濃川クリーン作戦は自治会役員を中心とした人員が固定化から一般参加者の働きかけが課題

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○情報共有のための地域ネットワークづくり	施設の広報紙などの配布・回覧	有明自治会8、浦山自治会13あり、青山コミハに各自治会ごとの設置棚があり、配布回覧依頼は容易	近所付き合いのツールになればと期待している 配布文書が多く、回覧効果やその周知度が不明であり改善等が課題
	自治会、民児協、高齢者・障がい者団体などの地域団体をはじめ、有明福祉タウン、青山小学校、青山コミュニティハウス、コンビニ、郵便局、薬局、新聞販売店、牛乳販売業者などとの連携強化	地域包括ケアシステムづくりに向けての確認段階 「いきいき健康づくりの集い」「有明らっきり」等地域の茶の間の開催に補助金利用し参加人数に効果が出ている	地域包括ケアシステム（案）の具現化への対応。自治会役員・福祉担当・民児委員・友愛訪問員・地域福祉活動関係者等の福祉関係者交流会の継続開催やこれからのネットワーク作りや連携強化が課題である
○広報紙（情報紙）の発行	コミ協だよりの活用	地域の行事や青山小学校PTA、育成協の活動や自治会・町内会の動向などをタイムリーに年三回広報を発行し、小学校区全戸に配布	興味を持たれる紙面づくりと、編集スタッフ後継者づくりが課題
	掲示（各種店舗の掲示コーナーの活用）	地区図書室を兼ねている青山コミュニティハウスに催事の都度、廊下に写真を掲示 行事ポスター等は、福祉社会館や商店に依頼	行事参加者増加につながるのを期待している 今後もタイムリーな広報活動を目指す

【スケジュール】 ①令和2年2月18日：委員宛て作成依頼 ②5月頃まで：コミ協ごとに検証し、作成 ③6月8日まで：提出 ④6月の推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画 2015～2019年度の5年間ふりかえりシート

小針小学校区コミュニティ協議会

「元気なあいさつ」で安心安全なまち

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和2年 5月30日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○声かけや見守りの強化 ○困った時に「助けて」と言える地域づくり ○多世代交流の活性化 ○地域の問題や困りごと相談 ○高齢者の交流の場を増やす	隣近所と日頃のお付き合い	特記事項	課題
	友愛訪問の立ち上げと実践を推進	○友愛訪問は民生委員やボランティア等により着実に推進された。	○若い人の挨拶運動の推進。
	多世代が交流できる行事の開催	○伝統文化である七夕祭、餅つき大会や防犯訓練等、多種多様な事業を通して多世代交流や地域の活性化が図られた。	○高齢者などの福祉ニーズ把握のためのアンケート調査の実施
	アンケート、意見交換会の開催（自治会単位）	○地域の課題や困りごと相談については、班長からの情報を議題にする等、定期や必要に応じ対応してきた。	○集会所と担い手の確保。
	交流のための集会所確保	○自治会の集会所を活用した茶の間の開設や開設の準備等高齢者の交流の場作りが進んでいる。	
	老人クラブの加入促進		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○空き家や空き地の対策 ○路上駐車防止や交通安全の取り組み ○地域防災力の強化 ○ゴミ出しマナー違反の減少と対策 ○子ども達の遊び場の増設（屋内外施設）	空き家・空き地マップ作り	特記事項	課題
	危険道路等の指導	○空き家実態調査と活用マップを作成した。また、空き家の調査を毎年行い状況把握に努めている。	○空き家の防犯防災の低下。
	避難場所の周知と防災訓練の参加促進	○防災訓練実施。研修会では各地区の課題についてワークショップを行っている。	○一部自治会の自主防災組織の結成。
	ゴミ置き場の定期的な実態調査と指導	○ゴミ置き場については、担当役員や班長等が毎日や定期的に美化管理している。	○防災訓練における災害弱者の参加の促進。
	高齢者向けゴミ分別カレンダーを作成（行政へ提案）		○違反ゴミ、区域外の人ゴミ出し対応。
	公園の整備・充実を推進	○公園は、草刈や樹木の剪定等を行い準備に努めている。	

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○みんながあいさつをする地域づくりの推進 ○お互いの得意なことを出し合い、交流し、仲間づくりができる場の開設	積極的な声かけ・あいさつ運動は、子ども達と小中学校と連携で実施	特記事項 ○登下校時にボランティアによる積極的なあいさつ運動展開され、あいさつをする地域づくりが進んだ。	課題 ○登下校時以外の挨拶の推進。 ○大人同士のあいさつ運動の推進。 ○小中学校との更なる連携強化。
	机、椅子があればできる施設（公民館、公園等）	○仲間づくりができる場関係では、公民館を利用した取り組みや自治会の集会所活用の検討が進められている。	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○自治会、民生委員・児童委員、友愛訪問員、社協、包括支援センターと情報共有できるネットワークづくり ○地域のリーダーの人材育成 ○災害時等に備えた情報の共有 ○地域の結びつきを強化（絆づくり）	自治会に福祉部や友愛訪問制度を確立	特記事項 ○「地域活動の人材育成を考えよう」とメインテーマに、事例紹介、パネルディスカッションを行い、人材発掘と育成に努めた。	課題 ○高齢者の福祉ニーズに対応するためのアンケート調査の実施。 ○人材育成と後継者の確保。 ○自分の地区の災害リスクについて、市総合ハザードマップの活用による更なる理解、浸透。 ○高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センター業務の周知徹底。 ○支え合いの地域づくりの推進。 ○判断能力の十分でない人の権利を尊重し支援する成年後見制度への取り組み促進。
	適度なおせっかい	○防災、避難訓練の中でミニ防災研修を行い、対応力の強化と情報の共有化に努めた。また災害時ご近所声かけ活動を発足させた自治会やゴミステーションに避難所の周知を図った自治会も見られた。	
	人材育成講座の開催	○イベントの開催にあたっては、自治会の周知徹底はもとより、小中学校やあらゆる場所へのポスター掲示等、工夫をこらし広く参加の呼びかけを行った。	
	避難所、避難経路の情報提供と連絡網づくり	○地域包括ケアシステムの構築が求められている中、中心的役割を担う地域包括支援センターについての研修会を開催した。	
	イベント参加の呼びかけ		

【スケジュール】 ①令和2年2月18日：委員宛て作成依頼 ②5月頃まで：コミ協ごとに検証し、作成 ③6月8日まで：提出 ④6月の推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画 2015～2019年度の5年間ふりかえりシート

黒崎南ふれあい協議会

大人と子どもが安心して暮らせる地域づくり

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和2年 6月 1日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○だれもが気軽に参加できる機会の提供を推進 ○地域交流のきっかけづくりを推進	各地区の集会所や公民館などの活用	黒崎南まちづくりセンターを拠点に、ふれ協各自治会や各種団体の活動内容を周知・発信する資料づくりの場に活用したり、地域のお茶の間広場や黒崎南ふれあい協議会主催の輪投げ大会やフロアカーリング大会などの事業を実施する。	令和元年度までの活動を継続すると共に、当地域でも例外なく押し寄せている少子高齢化社会に対応いく地域交流活動を取り入れて行く。
	クリーン作戦、収穫祭、運動会、敬老会など、各種行事の活発化	西区一斉クリーン作戦や地域のふれあい運動会・農業まつりなどの各種行事を行い各地区の活性化を促進してきました。	今までの事業を継続拡充して行くと共に、西区社会福祉協議会の制度拡充に伴い、黒崎南地区社会福祉協議会を令和2年度に設立し、進行していく高齢化社会に応える社会福祉事業活動の充実を進めて行く。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○地域の高齢者を見守るため、隣近所で声の掛け合いを推進 ○子どもの見守り活動の推進	地域でのあいさつ運動の実施	少子高齢化で子供達が年々少なくなっているが、農村集落で二世帯以上の同居住宅が多い事が幸いし、地域に声掛けを促す取り組みが無くて自然発生的に声掛け活動が実行されていました。	子供達や高齢者に元気で安心安全に過ごして頂くためこれからも大きな声での挨拶運動を推進していく。
	まめっこクラブの活動を周知し、地域全体での見守りの実施	小学校児童は離れた地域からはバス通学・近くの児童は徒歩通学ですが、学校の周辺集落の児童の見守りは民生児童委員・木場交番等を含めた学校見守り隊を中心に安心安全活動を推進して頂いた。	地域の安心安全を第一に考えて今までの活動を更に拡充していく。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○隣近所で協力し合う地域づくり	ゴミの分別方法やゴミ出しルールの周知徹底	各自治会のクリーンにいがた推進員を中心に活動を行い、ゴミ出しルールの遵守に努める。	活動を通じて違反ゴミや不法投棄が減少する効果が出てきているので更に活動を継続する。
	高齢者のみの世帯の除雪作業を協力	農村地域で多世代同居等も多い事もあり、今年の大雪の際には農家所有のトラクターが周辺の除雪作業にボランティアで協力している。	積雪時のトラクター除雪が進んでいるので高齢者からの意見要望や苦情等は少ない効果があるので今後も活動を継続して行く。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○自治会の活動の積極的な広報	回覧板の活用	各自治会で全戸配布資料や回覧資料を黒崎南まちづくりセンターで印刷し、情報を積極的に発信する活動を通じて、地域の情報収集・情報伝達が深まる活動を促進している。	今後も地域の細かな情報も出来るだけ多く発信する活動を継続する。
○高齢者を地域でささえ合う体制づくり	高齢者のみ世帯への声かけ、見守り活動	地域の自治会役員、民生児童委員等を通じて高齢者の見守りを実施して来たことから、地域と一人世帯高齢者との接点が図られた。	今後は更に高齢者が増加して行くので、より多くの高齢者と接点・会話を重ねて安心安全で住みよい地域を目指して活動を継続して行く。

【スケジュール】 ①令和2年2月18日：委員宛て作成依頼 ②5月頃まで：コミ協ごとに検証し、作成 ③6月8日まで：提出 ④6月の推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画 2015～2019年度の5年間ふりかえりシート

大野校区ふれあい協議会

子どもからお年寄りまで健やかに暮らせるまち

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和2年7月作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○自治会・町内会が中心となり世代を超えた人たちが集える場を開設 ○サークルや団体同士が交流できる行事の実施 ○自治会内の有志やサークル活動などを自治会、町内会で支援する仕組みづくり ○近所同士のあいさつや声かけの活発化	餅つき大会、納涼祭、盆踊り大会、賽の神などの地域行事の開催	連合組織や各自治会が中心となり、各地域の特色に合わせ活発な事業活動がすすめられている。子どもから高齢者まで多数参加し、地域のコミュニケーションの場となっている。	各自治組織でも人的交流が年々希薄になりつつあり、少子高齢化が進む中で役員等世話役の成りて不足がすすんでいる。各事業必要性が増えると考えられる中、縮小や廃止による参加者の減少がある。
	お茶の間サロンの増設	まごころ黒崎お茶の間（月1）、お達者クラブ（月2）、水曜茶話会（毎週1）、ひまわりの会（毎週1）、新田町いきいきサロン寿会（月1）、金巻なかよし会（月2）等茶の間の開設と新たな開設計画も進んでいる。	地区別にサロン開設が進む一方、高齢化に伴う世話役の不足により、事業のまんねり化、広報不足による参加者の固定化、減少等もすすみつつある。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○子どもや高齢者の見守り活動の推進 ○民生委員・児童委員、自治会・町内会における要援護者情報の把握の促進 ○自主防災組織の立ち上げ、強化、定期的な会合などによる防災意識の醸成	学校と連携したあいさつ運動の実施	高齢者の見守り活動の推進、独居高齢者・空家の増加	少子化に伴う安全対策。集団登校・下校の困難地域が増えている。防犯灯・防犯カメラの設置やその管理の検討が必要。交通安全見守り活動の充実強化。単位自治会での防災訓練等はその内容に限界がある。一方、高齢化に伴う参加者の足も考える必要があり、支える側、支えられる側の行動計画・指導を検討。
	登下校時の安全パトロール、交通安全指導の実施	通学路等における危険個所の総点検と安全マップの作製、各自治組織による安全パトロール隊の立ち上げによる下校時の見守り活動の強化実施がおこなわれている。	
	防災訓練、避難訓練の実施	連合組織や各自治会が中心となり、防災・避難訓練がなされており、新たな自主防災組織の立ち上げもすすんでいる。	

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○地域における生きがいづくり、健康づくり ○自治会・町内会が中心となって、地域環境の美化運動などを促進	健康講座、健康体操教室の開催	4校区共催による健康講座の開催やふれあい健康ウォークの開催による参加者が増えている。。	高齢化に伴い行動範囲が狭まってきている。サポートする配車サービスの構築や、自治会単位の小規模健康講座の開設促進のためのサポート。又、地域環境整備は単位自治会でバランスが保てないため、校区全体での事業計画・促進が必要。
	老人憩いの家の活用促進	地域包括センターと共催、健康教室開催	
	公園や空き地、道路（側溝）などの清掃活動、美化運動（花植えなど）の実施	ランニングロードの清掃を年二回に増、西区一斉クリーンデーとともに各自治会でも美化活動がすすんでいる。	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○自治会・町内会の広報活動を活発にし、地域行事の宣伝を強化 ○区役所や区社協、地域の各種団体などと情報交換を行い、連携を促進 ○自治会・町内会が主体となり、担い手の発掘・育成を促進 ○障がいがある人でも地域活動などに参加できるような環境づくり	ふれ協だよりの発行	年1回の発行、年間の事業活動内容・成果について広報している。（全世帯配布）	広報活動の充実強化により、活動が地域に寄り添う内容として、参加者の増を図る。また、自治会、民生・児童委員、PTA、老人会等公益的団体との横の連携強化を進め相互の一体的活動強化をはかる。
	回覧板等の有効活用	年間事業として定着し毎年実施。	
	自治会・町内会と民生委員・児童委員との情報共有	生涯スポーツへの取り組みとして黒崎体育館でフロアカーリング大会を開催。	
	PTAと連携した地域全体での子どもの健全育成	PTA・学校・地域の連携強化	
	個人の特技、技術を活かしたボランティア活動	ボランティアへの参加協力依頼の強化・広報	

【スケジュール】 ①令和2年2月18日：委員宛て作成依頼 ②5月頃まで：コミ協ごとに検証し、作成 ③6月8日まで：提出 ④6月の推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画 2015～2019年度の5年間ふりかえりシート

立仏校区ふれあい協議会

住民参加によって充実した暮らしのできる安心安全なまちづくり

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和2年4月7日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
<p>○立仏小ワンダーランドに、地域の高齢者からの参加を促進</p> <p>○高齢者の活動の中で、子どもたちも参加できるイベントを実施</p> <p>○親子の居場所づくりの推進</p> <p>○集会所、公民館、公園などを気軽に利用できるようにし、地域住民の憩いの場として有効活用</p> <p>○清掃活動等への参加を多くの人に呼びかけ、地域のふれあいの場として活用</p>	立仏ふなっ子の活動	親子の遊び場・交流の場提供、毎週月曜日、月4回実施 毎年年間45回前後実施、母親同士の情報交換・悩み相談等に役立っている。	親子合わせ総数500名／年を超える人数が参加、母親の育児悩み解決に大いに役立っているため、今後も今の体制を維持出来るよう継続して進める。
	立仏小ワンダーランド事業	○毎週月・木・土曜日課外学習として開催、平日PM3:00～4:20、土曜9:00～11:20 ○低学年は約半数が参加しているが、高学年の参加率が低い	○地域の高齢者等男性スタッフのなり手が少なくなっている。
	地域の茶の間事業	○うちの実家『てつ家』H21から実施、月2回、介護・障がい・年齢等に関係なくつろぐ場所として提供・遠方の方も参加有。 ○「いきいきサロンたち仏」第2・4水曜日開催 ○「いきいきサロン絆」第2金曜日開催 寺地中自治会 ○「寺中サロン」第3又は第4土曜日 男性中心・寺地中自治会	○参加者20名位／回（延べ2,500名）と定着しているが、市の助成も、食材等も援助・持ち出しも限界、厳しい状況である、他は公民館・集会所を使用しているが、「てつ家」は、地区外の人もいる為、個人宅を提供、支援が必要である。
	地域の公園清掃等	各公園毎、管理自治会が異なるが、自治会独自定期的を実施し、習慣化となっている。	○済生会新潟病院の支援を受け「子ども食堂」の創設を進めている（2020年3月から実施予定が延期）
	あいさつ運動を地域全体で推進	立仏小学校で推薦・指導し自治会でも推進している。	今後継続していく。遊具等の不具合が発生した場合、新潟市に対応を臨機にお願いしていく。
	西区一斉クリーンデーへの積極的な参加	参加者は、年々増加傾向にあり地域での習慣となりつつある。	高校生も挨拶がよくなってきている、特に地域内の顔見知りでは進んでいる。
			天候等の状況にも差はあるが、毎年300～500名が参加、地域全体での行事は意識が向上している。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
<p>○各自が隣近所とのコミュニケーションを密にし、特に高齢者や子どもたちへの声掛けを積極的に実施</p> <p>○セーフティスタッフの増員を図り、児童の安全を推進</p> <p>○年間を通じて夜回りができるような体制づくりを協働で推進</p> <p>○大人も子どもも防災意識の醸成を促進</p>	通学時交通指導の実施	○交通安全推進員による定期的な指導及び、子供見守り隊による毎日登校時の指導を実施（各自治会から1名） ○地域内に不審者情報もあり、交通安全・防犯や犯罪事件防止に	○現在迄無事故で推移している。 ○継続実施していくが、指導員等の参加者希望者が年々少なくなっている。
	防犯灯の点検や不法投棄の見回り	○生活環境部会で夜間巡視を実施している。 ○上記外に防犯灯や不法投棄点検は、各自治会管理分は定期的に点検している。	継続実施
	生活環境部会による定期的な点検活動	防犯灯は、ほとんどがLED化されており、各自治会管理分は定期的に点検している、ふれあい協議会でも定期的に巡回確認している。	継続実施
	総合防災訓練、あそぼうさいの実施	○毎年、立仏小学校に於いて実施、児童の時期から防災対応を経験し、理解を深めてきている。 ○ふれあい協議会から毎年小学1年生に防災頭巾を贈与6年間使用する、学校内の防災訓練時使用	新児童に対して、意識を備える事に向け習慣化を継続して行く。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○高齢者等の「見守り」推進 ○生涯学習の推進 ○遊歩道の利用促進	友愛訪問、声掛け活動等の推進	○民生委員児童委員及び地域老人会等で実施	○個人情報の問題もあるが、必要としている人の情報把握が難しい、又その人の生活に介入することになるが、問題を解決するには更に進めていく必要性がある。 ○昭和の時代のような、おせっかいと助け合いのバランスが必要どのように算入するか課題 継続実施 ○各事業毎30名程度が参加、今後継続実施 ○遊歩道が全線完成した場合には、この事業も取り入れていきたい。
	施設めぐりや健康教室等の実施	○生活学習部会による「公共施設の見学会」を開催し公共施設や事業を見学し理解と認識を深めている。（場所は毎年変更）	
	遊歩道を利用したウォーキング等のイベント	健康福祉部において「さわやか健康体操」（6月）「いきいき賢幸教室」（7月）「どこでも！健康教室」（新潟市の支援）による3つの取組を行い、運動習慣の定着・健康寿命延伸を勧めている。	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○地域住民が自治会の活動、行事に積極的に参加し、住民同士のコミュニケーションを深めて情報の共有を促進 ○昼間在宅者による情報共有や連携の仕組みづくりの推進 ○若い世代や子どもたちに積極的に働きかけ、早い時期からの地域活動、福祉活動への参加促進 ○自治会役員などへの積極的な女性登用。また女性からも積極的に参画できる雰囲気づくり	幅広い年代層を対象とした、餅つき大会等の交流イベントへの企画・実施、参加呼び掛け	○各自治会ごとに内容は異なるが、バーベキュー大会・夏祭り・盆踊り・敬老者祝い会・旅行会・冬季餅つき大会等を自治会で実施 ○敬老会や子供会に対して自治会から助成をし、各会に於いて独自の活動を実施 ○それに伴い高齢者や若い世代等を含め各自治会内の親睦交流が盛んとなっている。 ○教育文化部に於いて、「バレーボール大会」実施、「笹団子づくり」は参加者が多く2回に分けて実施するようになった、「学校へ行こうそして学ぼう」定期的に実施 小学校・地域住民参加で連携している。	○世間では、自治会行事は重荷だ・自治会役員のなり手が無い・自治会費の問題・自治会解散等の声もあるが、各行事は、人と人の繋がりが出来る、行事を無くしてしまえば、地域連携の崩壊となる、止めてしまえば次の世代は立上困難・防災等非常時の連携は、地域づくり、人づくりが必要となる為、今後継続。

【スケジュール】 ①令和2年2月18日：委員宛て作成依頼 ②5月頃まで：コミ協ごとに検証し、作成 ③6月8日まで：提出 ④6月の推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画 2015～2019年度の5年間ふりかえりシート

山田校区ふれあい協議会

子どもも高齢者も安心して暮らし、住民どうしのつながりで支えあえるまちづくり

はじめに

- 山田校区には5つの部落自治会があります。「子どもも高齢者も安心して暮らし、住民どうしのつながりを支えあえるまちづくり」は、この各部落自治会がそれぞれ工夫を凝らし、しっかりと取り組んでいるところです。更に、山田校区ふれあい協議会発足前から、この地区には小学校を中心にした、支え合いの仕組みが存在していました。
- ①山田小学校後援会を設置し、各自治会が後援会費（世帯単位に計算した額）を納付し、支援しています。
- ②山田小学校区交通安全推進協議会を設置し、児童の登下校時における街頭指導や、通学路の安全確保と点検等を行っています。
- ③山田校区防犯会議があり、消防団員の確保や防犯会議・情報交換を行っています。
- ④その後設置された、山田小学校区ふれあい協議会の役員構成は、①②③と殆ど重複しているのです。
- 従って、山田小学校区ふれあい協議会は、部落自治会が複数で行う事業を、協議会としての取り組み事業としたのです。従来から行っている各部落自治会単位の事業は含みません。

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

令和2年5月作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
<p>○子どもや高齢者、地域の人たちの居場所や地域集会の場として、学校施設や公民館、憩いの場、空き家などを有効活用（使い勝手のよい利用）</p> <p>○自治会ごとに高齢者、子どもが気楽に参加できる場所を確保（一部の地域では毎週木曜にいきいきサロンを開催）</p>	<p>既存サロンの継続と、新たなサロン（多世代交流や高齢者対象）の立ち上げ</p> <p>老人会や子育て世代（親子）の協力を得て実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域ふれあい教育事業（親子もの作り大会） 地域ふれあい教育事業（ふれあいチャレンジカップ大会） 地域ふれあい教育事業（紙芝居事業：学校において児童を対象に実施） 健康増進カラオケ発表会 新春囲碁・将棋大会 ふれあい健康教室（高齢者対象の健康教室） 黒埼地区健康づくり講座（4校区ふれあい協議会） 	<ul style="list-style-type: none"> 専任職員が不在のため、自治会役員が分担して行っていますので、住民からすると、自治会行事なんだととらえる傾向があります。 協議会への会費納入義務がなく、自分たちが参画しているという認識が薄く、協議会という組織は馴染みの点からも今ひとつ浸透していないようです。 山田小学校区ふれあい協議会は、これからも同左の取組を継続していくこととしている。（令和2年度事業計画）

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
<p>○空き家とその周辺環境の整備を検討</p> <p>○地域見守り隊を結成し、危険箇所など地域の定期的な見守り体制を強化</p> <p>○自治会・町内会の広報活動の強化により、防犯、防災意識の啓発促進</p>	<p>自治会・町内会が中心となって継続</p> <p>防災、救護訓練（要援護者マップ等利用）の継続実施</p> <p>避難完了の目印の設置などの協議、検討</p> <p>セーフティスタッフを随時募集し、体制を強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の消防団員の協力を得て防災・救護訓練の実施（校区防犯会議）。 西区役所安全安心係のご協力を得て地震の疑似体験ができる「起震車」での震度体験（校区防犯会議）。 校区内の不具合箇所調査・点検（小学校後援会）。 登校下校時の見守り強化（交通安全協議会）。 	<ul style="list-style-type: none"> 山田小学校区ふれあい協議会は、これからも同左の取組を継続していく事としている。（令和2年度事業計画） これまでの個々の自治会で対応していた防災対策から、予期せぬ自然災害等に備え、広域的な視点からの取組が必要な時期に来ているように思われる。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○自治会・町内会が中心となって、ごみ出しルールの意識向上や不法投棄の防止を強化	ごみ分別講座の開催	・歩け歩け健康ウォーク ・公園と周辺クリーンデー	・山田小学校区ふれあい協議会は、これからも同左の取組を継続していく事としている。 （令和2年度事業計画）
○クリーンアップ活動を持続的、計画的に実施	月1回程度、自治会・町内会内の点検、清掃を実施	・西区一斉クリーンデー	
○公園で子どもたちが遊べる環境を検討		・毎月公園（地域内）の草取り・清掃活動・便所掃除（公園愛護会）。	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み（R1年度まで）と成果	課題と展望（第3次計画へ）
○自治会・町内会における地域の課題や情報の周知と農村部との連携強化	地域の子ども祭りなどへの参加	・地域ふれあい教育事業（われら信濃川探検隊） ・地域芸能保存事業	・山田小学校区ふれあい協議会は、これからも同左の取組を継続していく事としている。
○子育て世代、若い世代とのコミュニケーションを構築し、地域の文化、取組みなどを次世代に継承	ボランティアに関する情報提供を推進	・福祉バスで行く施設見学 ・PTAバザー（小学校文化祭時） ・山田校区歴史考察	
○様々なボランティアに関わる人材の発掘と社会参加	高齢者の孤立、悩みに対する相談支援者などを自治会・町内会で協議検討し、相談会を開催	・山田小学校へ「きずなはがき」の寄贈	
○見守り、支えあい活動などの体制づくり		・地域ふれあい教育事業（やまだ冬まつり）	

【スケジュール】 ①令和2年2月18日：委員宛て作成依頼 ②5月頃まで：コミ協ごとに検証し、作成 ③6月8日まで：提出 ④6月の推進委員会で報告